

# 学 会 録 事

## 1. 2014 年度日本藻類学会第1回持ち回り評議員会

第1回持ち回り評議員会（2014年6月9日～6月23日）を開催し、次期会長候補者の推薦投票を行った。国内評議員16名中11名から投票があり、得票数5位までの方に対して学会事務局から推薦の可否の確認を行った。その結果、次期会長候補者として、奥田一雄氏、田中次郎氏、南雲保氏（五十音順）を評議員会から推薦した。

## 2. 2014 年度日本藻類学会第2回持ち回り評議員会

第2回持ち回り評議員会（2014年8月20日～9月5日）を開催し、Phycological Research 編集に関する以下（1）～（3）の改定案の可否を審議した。回答があった13名のうち、改定案（1）と（3）については全員の賛成、改定案（2）については賛成12名、反対1名により審議事項が承認された。

### (1) 料金の改定

（現行）第一著者が学会員ではない場合、掲載料として12,000円を徴収する。制限ページ（通常論文は8page、短報は4page）を超過した場合、18,000円/pageを徴収する。

（提案）学会員であるなしに関わらず掲載料は徴収しない。制限ページ（通常論文は8page、短報は4page）を超過した場合、第一著者もしくは対応著者が学会員の場合は5,000円/page、それ以外は10,000円/pageとする（2015年1月1日以降に投稿された論文に適用）。

### (2) レイアウトの変更

（現行）フォントサイズと行間について、本文は9.5pt・12pt、見出しは9.5～12pt・10～14pt、リファレンスは8.5pt・12ptとする。

（変更）フォントサイズと行間について、本文は8.5pt・10pt、見出しは9.5～11pt・10～12pt、リファレンスは7.5pt・10ptとする（63巻1号から適用）。

### (3) 編集幹事 (Editorial Secretary) の設置

編集幹事として佐藤晋也氏（福井県立大学）を迎え、主に校正刷りのチェックを担当していただく（2015年度から設置）。

## 3. 日本藻類学会次期会長及び評議員選挙の結果

次期会長・評議員選挙（任期：2015年1月1日～2016年12月31日）を2014年7月7日から8月7日にかけて実施した。2014年8月8日、東京海洋大学において、能勢敦子会員、宮内麻由美会員の立ち会いのもと開票を行った。その結果に基づき、各当選者の承諾を得て、以下の次期会長および評議員が選出された。

### [会長選挙]

田中次郎\*（当選）；奥田一雄（次点）

### [評議員選挙]

北海道地区（定員1名）

本村泰三（当選）；阿部剛史（次点）

東北地区（定員1名）

村岡大祐\*（当選）；原慶明（次点）

関東地区（定員4名）

河地正伸\*（当選）；出井雅彦\*（当選）；宮村新一（当選）；

中山剛\*（当選）；辻彰洋（次点）

東京地区（定員2名）

南雲保\*（当選）；藤田大介\*（当選）；畠田智（次点）

中部地区（定員2名）

坂西芳彦（当選）；倉島彰（当選）；上井進也（次点）

近畿地区（定員2名）

宮下英明（当選）；川井浩史（当選）；坂山英俊（次点）

中国四国地区（定員2名）

峯一朗\*（当選）；大谷修司（当選）；吉田吾郎（次点）

九州地区（定員2名）

川口栄男（当選）；寺田竜太（当選）；グレゴリー・N・ニシハラ（次点）

日本以外の地区（定員3名）

Boo, Sung-Min（当選）；Nelson, Wendy A.\*（当選）；Zuccarello, Giuseppe C.（当選）；Bellgrove, Alecia（次点）

（敬称略，\*は連続2期目を示す）